



# おいしく収穫、ブルーベリー

春は花、5〜9月は果実、秋は紅葉と、1年中、楽しめるブルーベリー。鉢植えで育てられるので、小さな庭やベランダにもお勧めです。取れたての果実が味わえるのもうれしいですね！



ゴーヤで緑のカーテンを作ると、実を鳥から守り、夏の日差しを遮り、ゴーヤも収穫でき、一石三鳥！ゴーヤネットは目が粗いので、防鳥ネットがベター。ブルーベリーの二つの鉢は、枝がケンカしない程度に間を開けて台の上に置く。ただし、8〜9月に熟する品種は、あまり遮光すると実の生育が悪くなる。



▲かれんなブルーベリーの花

おいしそうに実ったブルーベリー

## 耳寄り情報

あいあいパークでは、第1土曜 = 「ガーデニングスキルアップ講座」、第2土曜 = 「土の日講習会」、第3土曜 = 「お庭の相談日」を開く。15時〜、無料。



受粉は、天気の良い午前中に行う。毛羽立たせた綿棒か、耳かきの梵天で、花をポンポンとたたいて花粉を付け、もう1本の木の花に受粉させる。交互に行うと、2本とも受粉する。花は次々に4週間ぐらい咲くので、週1度の受粉で、実も4週間にわたって収穫できる。ブルーベリーは冷凍可能。洗わずに冷凍し、食べる時に洗うと水っぽくならない。



## 【苗木選び】

ブルーベリーには、ハイブッシュ系、ラビットアイ系などの系統があり、各系統に多くの品種があります。どれを選んでも、実付きを良くするためには、他家受粉が欠かせません。異なる系統では受粉しないので、同じ系統で品種の異なる2本の苗木を準備します。苗木は1年中、市販されていますが、植え付けるなら、落葉期の冬がお勧め。土から太さのそろった枝が複数出ている、花芽の多い苗木を選びます。

## 【植え付け】

酸性の土を好みます。専用土か、ピートモス・鹿沼土・赤玉土に日向砂の小粒（水はけを良くする）を1割程度混ぜた土を使います。根が非常に細く切れやすいので、根鉢の表面は軽くほぐす程度で植え付けます。

## 【育て方】

「太陽と水の植物」と言われるほど、日当たりと水が大好きです。でも、暑過ぎるベランダでは、根が蒸れてしまいがち。鉢は台の上に置き、日よけで夏の強い日差しを遮ってやりましょう。春から夏までは土が乾いたらたっぷり、冬の落葉期も週に1度の水やり

を忘れずに！

## 【施肥】

数多く収穫するには肥料が大切。2〜3月に寒肥、5〜6月に追肥、収穫後の7〜8月にお礼肥を与えます。専用の肥料か、果樹用の緩効性有機肥料を用います。

## 【剪定】

2〜3月は植え付け、植え替えと共に、剪定の適期。枝が込み合っていたら、花芽の付いた枝を残し、細い枝や向きの悪い枝を間引きましょう。